

プランクトン調査結果のお知らせ

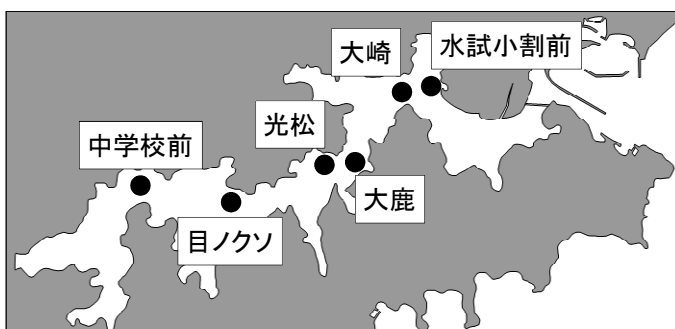
平成25年6月26日午後2時から浦ノ内湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

湾全域で着色が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが最高23,700cells/ml確認され、被害が想定される細胞密度を大幅に超えていました。餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。また、中学校前で有害種のシャットネラ属が急激に増殖しています。今後、赤潮になる危険性が考えられますので注意してください。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム属
中学校前	0m	820	271	5	5
	2m	64	10	5	4
	5m	4	0	1	0
目ノクソ	0m	31	0	2	7
	2m	1,450	1	4	12
	5m	11	0	0	0
光松	0m	23,700	1	2	6
	2m	1,850	0	3	8
	5m	13	0	0	0
大鹿	0m	9,700	2	1	4
	2m	610	0	3	6
	5m	25	0	0	0
大崎	0m	1,640	0	3	4
	2m	71	0	0	2
	5m	6	0	1	0
水試小割前	0m	590	0	11	3
	2m	326	0	3	1
	5m	12	0	0	1

(cells/ml)



漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(へい死)
- シャットネラ属: 10～100cells/ml(へい死)
- ディクチオカ・フィビュラ: 赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム属: 100cells/ml(餌食いの悪化)